



北海道室蘭養護学校

コミュニティースクール

CSだより

第1号

令和6年(2024年)7月29日 発行

6月3日(月)に今年度第1回目の学校運営協議会を開催し、出席いただいた4名の学校運営協議会委員の方々に本校の授業を参観いただきました。

その後校長室にて、本校校長 仙北谷が、令和6年度の本校学校経営方針や社会に開かれた教育課程について、また、本校職員の仕事の質を高めて働き改革につなげるることについて等説明を行い、委員の方々から御意見や御示唆をいただきました。

委員の皆様からの感想や意見

■ 鈴木会長

○高等部の作業の雰囲気「ピッ」として見ていて気持ちが良い。中学部で国際交流学習をしていたが、養護学校で実施しているのは珍しいのではないかな。

○昨冬、中島地区で室蘭工業大学の学生と「夢キャンドル」という催しを行った。同イベントを八丁平小学校に隣接する SHOUKEN パークで行ったが、子ども達と保護者が主で教職員の参加はなかった。働き方改革で土日のイベントの参加が難しくなっているのだろうと思っている。

○6月15日(土)にコスモスロードのイベントを行うので御協力をお願いしたい。

■ 小林委員

○子どもの指導について悩む先生もいるのではないかな。年齢問わずフォローしてあげてほしい。個別面談などが有効であろう。

○子どもをゆっくり見つめて、待つことも大切。達成感を味わわせてあげることで、子どもは自己肯定感を高めると思う。

■ 伊藤委員

○連絡帳や日々の先生との話はありがたいと感じている。

○学校の様子、友達関係などが分からないこともある。先生たちともう少し話をしたいが、忙しそうと思うと遠慮してしまうときがある。

■ 央戸委員

○福祉施設の指導の重点は、利用者の方々の自己選択・自己決定が主流となっている。

○自分たちの福祉施設の中で利用者の方の自己選択を進めていきたいが、学校生活で自己選択の学習をどの程度してきているのかを踏まえる必要があると考えていて、そういった面からも学校側とさらに連携していきたい。

○職員が決めた二択だけではなく、自分の意志を出せるようになってほしい。

皆様からの御示唆等を生かし、これからの本校の地学協働の実践につなげていきます。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。



校長室での協議(熟議)の様子です。
ちなみに、このとき本校には設置前のエアコンがたくさんありましたが、現在は児童生徒が活動、生活する教室等に設置し、活用しています。